

令和4年度 学校自己 及び 学校関係者評価表 武蔵村山市立第十小学校

経営理念	「子供と大人がいつも寄り添い、共に学び、一人一人が育ちを実感できる学校」 ア 児童一人一人が自信をもち、学びのエンジンを動かして伸びる喜びをつかむ。・意欲をもって学ぶ力と学習に責任をもつ感覚を育てる。 イ 朗らかな気持ち(心)で、自分も他人も大切に。(相手の心をよむ)・自分のよさを知り、友達のよさを実感する。 ウ 体力向上の活動にすすんで参加し、健康でたくましい体をつくる。・体育授業や体力向上の取組の充実により、運動の楽しさを実感する。
------	---

【学校運営協議会・会長】吉田 豊	様式
学校運営協議会(学校評価分)	第1回 6月23日(木) 第2回 1月12日(木) 第3回 2月16日(木)

	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標 (評価の根拠)	自己評価				分析コメント(学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策(来年度の目標設定、具体記取組目標)	学校関係者評価	
				10月2月		最終評価				意見	評価点 (4点満点)
				達成値	達成値	達成度	評価				
学力向上	確かな学力の定着 ・基礎基本の確実な定着 ・問題解決的な学習の推進	学校の授業と個別対応(一人一台端末の活用等)との連携を図り、基礎・基本の定着を図る。	国語・算数の小テスト等で9割以上正答する児童の割合(教員の記録)	70							
		家庭学習の内容やカード等を工夫し、保護者と連携しながら家庭学習時間(学年×10+10分)を徹底させる。	学年に応じた家庭学習時間が定着している児童の割合(児童評価)	70							
		音読を国語の授業に位置付け、すらすらと音読できる児童を育成する。	すらすらと音読できる児童の割合(児童評価・教員の記録)	80							
		字を丁寧に書くことを指導し、習慣化できるようにする。	字を丁寧に書くことができた児童の割合(児童評価・教員の記録)	90							
		ICT機器(デジタル教科書・一人一台端末の活用等)の活用により、学習意欲や学習効率を高める。	学習意欲や学習効率を高められた授業の割合(教員の記録)	70							
		課題解決的な学習を展開し、形成的評価を行っていく。	課題解決的な学習・形成的評価を実践できた授業の割合(教員の記録)	70							
体力向上	人としての基礎づくり(心と体) ・人権教育の推進 ・豊かな人間性を育む教育 ・体力づくりの推進	体育授業の改善を図り、体力づくりを継続的に実施する。	「体育の時間が好きである」児童の割合(児童評価)	80							
		日常的に体を動かすことが好きな児童を増やす。	「中休みなどの外遊びが好きである」児童の割合(児童評価)	70							
豊かな心の育成	人としての基礎づくり(心と体) ・人権教育の推進 ・豊かな人間性を育む教育 ・体力づくりの推進	「いすを入れる」ことを通して、心の育成の基礎を養う。	「いすを入れる」ことができた児童の割合(児童評価)	90							
		「特別の教科 道徳」において、自他の意見を尊重しながら考えを深めさせる。	道徳科で自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりできた児童の割合(児童評価)	80							
		縦割り班清掃において、異年齢集団と協力しながらやりぬく力を付けさせる。	縦割り班清掃で協力できた児童の割合(児童評価)	80							
信頼される学校	子供を育てる情熱と向上心の醸成 ・教員自身の自己研鑽 ・いじめ・不登校対応	教員相互が授業を参観し、事後協議を経て授業力を高める。	授業交流を年2回以上実施し、授業力がアップしたと実感できる教員の割合(教員の記録)	80							
		いじめを未然に防止し、発生した際には速やかに解消する指導を徹底する。	年3回のいじめアンケートで、いじめを受けていない児童(解消済み含む)の割合(いじめアンケート)	100							
		児童が活躍できる機会を生み出し、「学校が楽しい」と思えるようにすることで、不登校を未然に防止する。	「学校が楽しい」と思う児童の割合(児童評価)	80							
	開かれた学校 ・保護者・地域と、協働し共有する学校の推進	開かれた学校 ・保護者・地域と、協働し共有する学校の推進	保護者会の内容や手法(オンライン含む)を充実させ、参加率6割を目指す。	保護者会の参加率(学校の記録)	60						
学校・学年・学級だよりやホームページのオンライン化を進め、計画的に情報発信する。			HPの更新率、学校・学年・学級からの情報発信を月2回程度の割合で実施(学校・教員の記録)	80							
PTA活動・地域行事等に積極的に協力し、家庭を理解し、地域に溶け込む努力をする。			地域の行事等に教員の誰かが参加する割合(学校の記録)	100							
学校運営協議会等と連携し、ボランティア参加者を募る。			行事に対するボランティア参加の割合(学校の記録)	100							

【達成度】 = [達成値] / [目標値]

【評価】 A : 8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定

B : 8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施

C : 5割未満→目標の見直し